

# 北海道浮魚ニュース

平成 14(2002)年度 15 号 (通巻 No.135)

2002 年 9 月 6 日

北海道立水産試験場

ホームページ : [http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/ukiuo/uki\\_index.htm](http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/ukiuo/uki_index.htm)

## 道央～道北日本海スルメイカ調査結果

### スルメイカ 沖合で分布密度高く 大型

おやしお丸(中央水産試験場所属)で行ったスルメイカ調査の結果をお知らせします。

調査期間 : 2002 年 8 月 27 日～9 月 5 日

調査海域 : 道央～道北日本海

### スルメイカの分布密度と大きさ

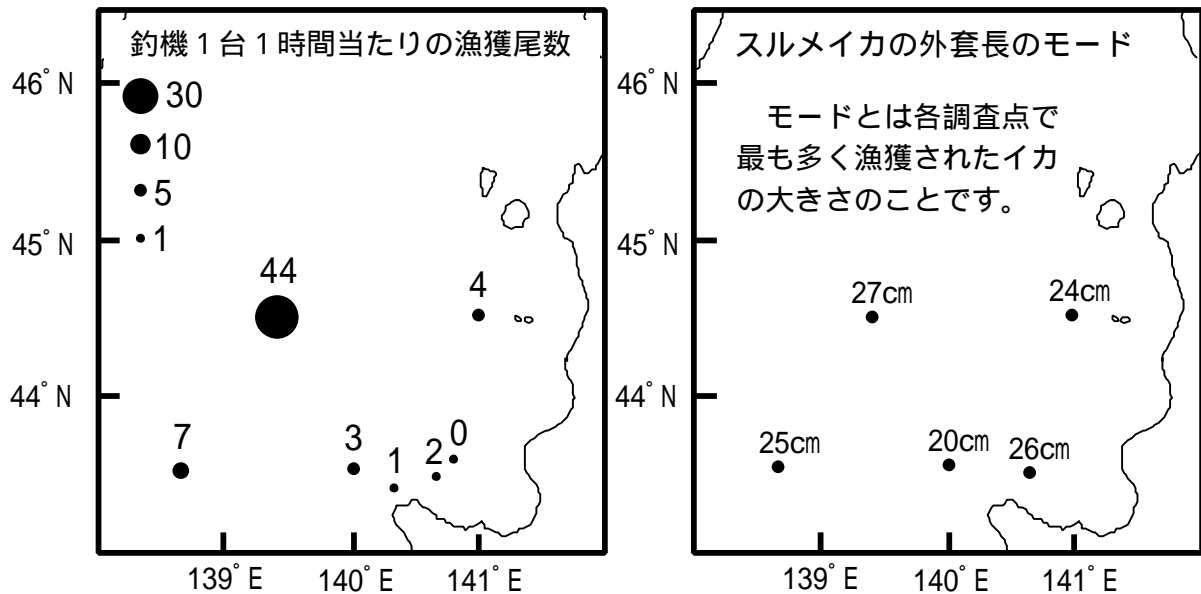


図 1 道西日本海におけるスルメイカの分布密度と大きさ

スルメイカの分布密度 (CPUE : 自動いか釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数) は 0～44 で、沖合で 7～44 と高かったが、沿岸寄りでは 4 以下と非常に低くなっていました (図 1 左側)。

調査海域全体の分布密度を示す平均 CPUE は 9 で、前年と同じ程度の年平均並みでした (図 2)。

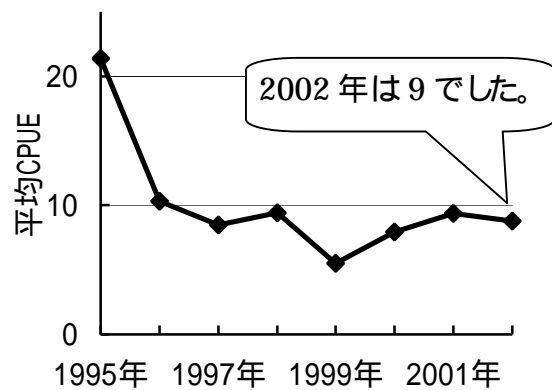


図 2 平均 CPUE の経年変化

スルメイカの大きさは、分布密度の高い沖合で外套長組成のモードが 25 ~ 27cm と大きく、沿岸寄りでは 20 ~ 26cm でした (図 1 右側)。調査海域全体では 25 ~ 27cm が多く、過去 2 年より大型のイカが多くなっていました (図 3)。

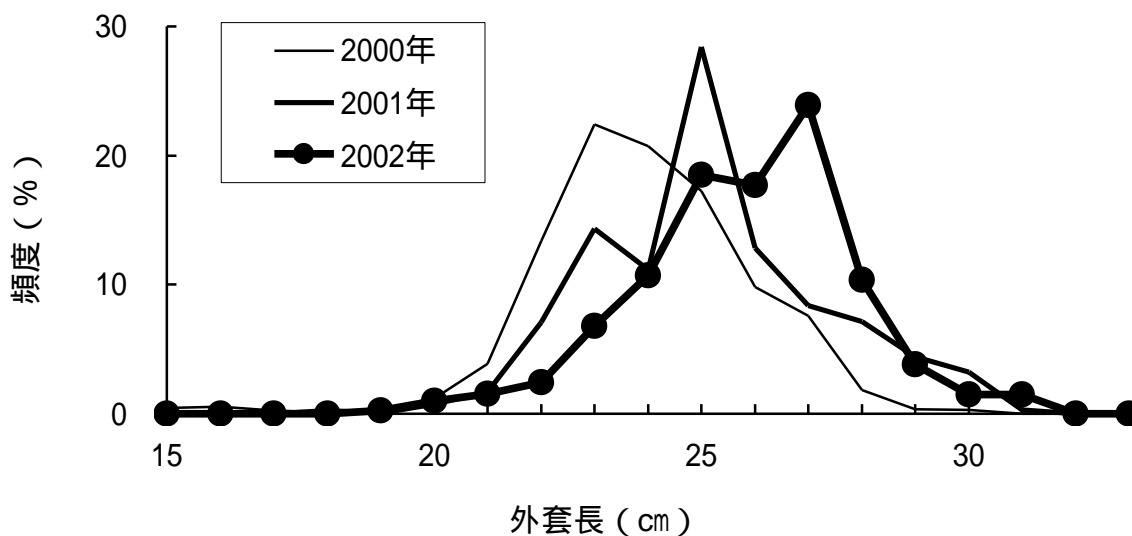


図 3 調査海域全体の外套長組成

### 水温分布

調査海域の 50m 深水温は、4 ~ 15 台でした。留萌や積丹半島の沿岸寄りでは 14 ~ 15 台と高く、西方沖合に行くにつれて 4 台まで低くなっていました (図 4)。

### 標識放流

8 月 30 日に、図 4 に示した N44° 30'、E139° 24' で、798 尾のスルメイカに標識(北中央 6201 ~ 7000)をつけて放流しました。標識イカを見つけた方は最寄りの水産試験場までお知らせください。

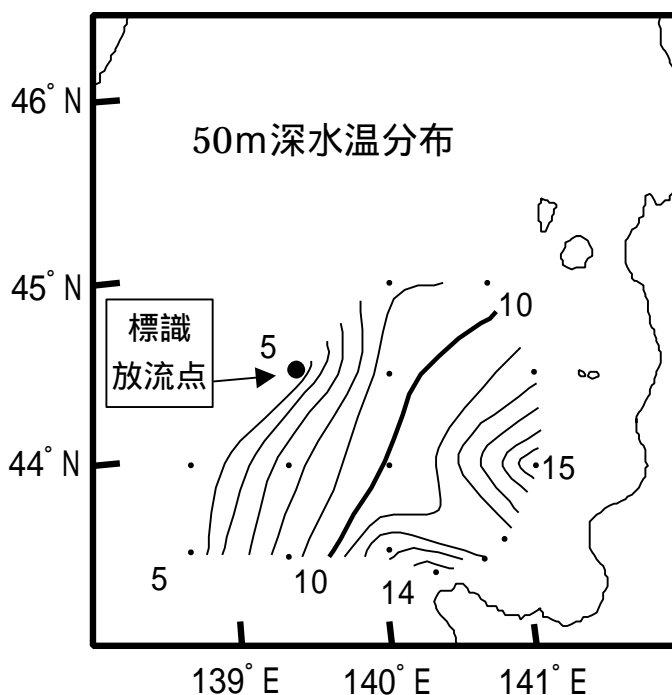


図 4 8 月下旬 ~ 9 月上旬の 50m 深水温分布

(文責：中央水産試験場資源管理部、TEL:0135-23-8707、FAX:0135-23-8709)